



●会長 櫻井弘己 ●副会長 桐本美智子 ●幹事 片野之万 ●会報委員長 今村信夫 (2008～2009年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
 ●例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 (株)グランドホテル神奈中2F ●事務所 平塚市紅谷町3-23 イトービル3F
 ●四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

第2642回例会 2008年7月24日 グランドホテル神奈中 週報第2642号

<幹事報告>

◎地区よりお願いしました義捐金への多数のご支援有難うございました。AMDAを経由し現地へ届けられたとの報告です。

- ・07年11月実施 ロサンゼルス近郊(山火事) \$17,133.43
- ・08年5月 ミャンマー(サイクロン) ¥1,902,141
- ・08年5月 中国四川省(大地震) ¥1,991,293

◎湘南ホームジャーナル7/18号に市内5クラブの会長のご挨拶が載っております。(回覧しています。)

◎地区R財団増進委員会より

今年度年間を通じて\$1,000以上のご寄付を頂いた会員に「礼状」をお贈りすることとなりました。

◎昨年度100%出席の方の確認をさせていただきます。

<メイクアップ> 1名 湯屋俊房会員

<本日のスマイル> 11名

<卓話・行事予定>

- 8月14日 休会
- 21日 プログラム委員会
- 28日 プログラム委員会
- 9月4日 プログラム委員会
- 11日 プログラム委員会

<市内例会変更> 現在ございません。

入会記念卓話

門井 宏二郎



野村證券に入社しまして、最初の配属は京都支店でした。最初は営業課というところに配属になりました。入社3日目には名刺を2箱渡されて、『名刺を30枚もらってこい』といわれました。突然のことで何の予備知識もなく、『まいど!』『こんにちは』『ごめんください』なんといって各会社様の受付に入るか考え込みました。

大体最初の3年間で1,000枚ぐらいの名刺を集めます。せいぜい10人・10件に1人ぐらいしか名刺をいただけませんので、延べ10,000万人くらいの人とお会いしただろうと思います。縁もゆかりも無いところで1万人!勉強になりました。

わたしの入社した年は1987年でその年の秋10月にブラックマンデーという証券市場での大事件が起きました。

私はその日に(これできつと1929年のNYのような大恐慌がやってくる。街には失業者があふれかえる)と思いましたが、実際には昼食に京都の支店の裏の錦市場に

入ると普段と全く変わらないんです。証券市場では大騒ぎをして入るけれども、世間の人たちはそれほどは関係が無いんだ。

そんな経験をその後のいくつかの大きな市場の変動の中で経験しましたので、市場の動きとそのときの市場の心理やムード、どこまで市場はそのときの状況を織り込んだか?そんなことに深く興味をもちました。

株式や為替といった変動がある市場の中で、そのときの心理や材料・情勢をどれだけ織り込まれているかを判断することが、市場で勝つための最大のポイントだと考えています。

新聞というものはそういう世の中の様々なムードが映し出されるもので、市場のことを考えるのに大変役に立ちます。

新聞の記事を順を追って読み込んでいくと、以外に機関投資家とか外人投資家が理想的な投資行動を取れているとは限らず、有名な評論家やエコノミストのコメントもそのときは納得できても後になって検証すると違うことも多くあります。こんなことを考えて新聞を見ていただくのは、面白いと思います。またその社会の様々な事象を独自の考えを基に、先行きを考えるということが証券市場の醍醐味だと思います。

<出席報告>

本日7月10日	会員数 58名	対象者 51名	出席者 45(39)名	出席率 76.47%			
前々回6月19日	会員数 58名	対象者 51名	出席者 44(39)名	出席率 76.47%	MUP 3名	計 42名	修正率 82.35%